

背景

人口減少克服のため、地方創生を進めている

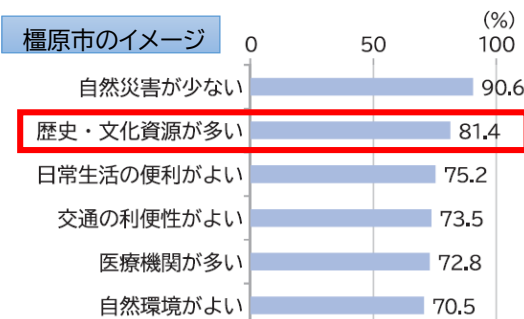
→新たな人の流れや交流による**魅力づくり**

→強み①**豊かな歴史と文化**②交通の利便性

③充実した医療・スポーツ環境

→市外:文化財をきっかけに橿原市に関心を持ってもらう

市内:文化財に親しみ、全市民で未来につないでいくことを目指す



現状の課題

国・県・市に指定や登録をされた文化財が**100件**以上…ほかにもまだまだ文化財の豊富さは認識されているものの、その価値が十分に伝わっていない。

文化財を伝えていくためには、行政の取り組みだけでなく、ひとりひとりの「想い」が必要。

人口(社人研推計)
12.5万人→12.1万人→8.3万人
(2014) (2020) (2060)

事業の目的

文化財が、**もっと身近な存在**になってもらいたい。

引き継がれてきた文化財を**未来につなげたい**。

“あたりまえにそこにあるもの”を“知る・守る・伝える”、そして**未来へつなぐ**

→文化財を通じて、人と人、地域と地域の**新たな交流**が生まれる。

文化財への想いが深まり、**文化財でつながる町**になる。

これまでの取組

○文化財調査…建造物・絵画・彫刻・古文書・民俗文化財・埋蔵文化財

(本薬師寺跡発掘調査)

○指定文化財保存管理(消防設備点検)への補助

○指定文化財保存修理への補助(木造大日如来坐像保存修理ほか)

○無形民俗文化財の継承への補助(だんじり、東坊城のホーランヤへの補助)



事業
内容

知る **文化財の価値を知る**

□ 文化財調査

建造物・絵画・彫刻・古文書・民俗文化財調査・埋蔵文化財

本薬師寺跡発掘調査

守る **引き継がれてきた文化財を守る**

□ 指定文化財保存管理(消防設備点検)への補助

県指定文化財木造聖徳太子立像、市指定文化財 旧常福寺観音堂ほか

□ 指定文化財保存修理への補助

重要文化財 称念寺本堂解体修理、重要文化財 旧織田屋形解体修理ほか

□ 無形民俗文化財の継承への補助

だんじり、東坊城のホーランヤ

伝える **文化財の魅力や価値を伝える**

□ 人と人との交流

ホームページ、SNS、動画等での情報発信、現地見学会の開催

これらをひとつのパッケージとして、文化財との新しい関わりを提案します。



橿原神宮 旧織田屋形



新沢千塚古墳群の見学



埋蔵文化財発掘調査



東坊城のホーランヤ

PR動画



成果・目標

- 文化財を通して、橿原市と他の地域との新たな交流を図る
- 自分だけの「お気に入り」を見つけてもらい、文化財への想いを深め、未来へつなぐ
- 文化財の調査・保存を進め、情報発信をしていく

寄附目標額:15,127千円

企業に求めるもの

- プロジェクト展開のための資金提供
- プロジェクトの協働パートナー

企業のメリット

- 文化財を未来につなぐことへの貢献
- 社会貢献企業としてのPR

得られる
成果等